

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870103961
法人名	有限会社 やわらぎ
事業所名	グループホームやわらぎ
所在地	松山市枝松6丁目7-12
自己評価作成日	平成21年10月6日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年10月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

一人一人が主人公になれるような、レクリエーションに力を入れています。今後は小さい行事にも家族参加して頂けるようになったらと思っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

利用者個々に担当の職員が決まっており、ご本人とのコミュニケーションの時間を多くして聞き取るようにされている。言葉で表現することがむづかしいような方は、表情や態度に注意して思いの把握に努めておられる。「言葉でなくても寄り添っているだけで思いが伝わってくることもあるよ」と先輩から教えてもらった、と言われる若い職員の方もあった。
お風呂がお好きな方は毎日入る方もある。入浴を嫌がられる方には入浴剤を使い「今日はいいい香りですよ」と声をかけたり、タイミングをみて誘ったり、「入浴予約表」を事前にお渡ししておいて、気持ちの準備をしてもらう等、工夫をされている。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 有限会社 やわらぎ

(ユニット名) グループホーム やわらぎ(2階)

記入者(管理者)

氏名 宮岡 忍

評価完了日

平成21年10月6日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 事業所の理念はあるが、分かりにくいという意見もあり、二階のチームで、二階の理念作成し、ホームの目につく所へおいて、日々意識を持つように心がけている。	
			(外部評価) 今年度、ユニットごとに職員で話し合い独自の理念を作成されており、事務室や玄関に掲示されていた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 近くの美容室を利用して利用させて頂いている。近くの小学生との交流会が年二回あったり、日常的に小学生が遊びに来てくれたりがある。	
			(外部評価) 年に1回程度、小学生がお手紙や千羽鶴を持って訪問してくれており、利用者と一緒に歌を歌ったり折り紙をして一緒に楽しんでいる。駐車場でいう事業所主催の夏祭りには、城南高校のボランティアの方達がお手伝いに来てくれている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 夏祭り等に参加して交流の場を設けたり、認知症に関する資料を作成し配布したりしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)	
			二か月に一回開催し、情報・意見交換した内容をミーティングで報告し話し合いサービスの向上に活かしている。	
			(外部評価)	
			運営推進会議には、近隣のグループホームの方が参加してくださっている。会議時、事業所の取り組みを報告して意見をお聞きしたり、「認知症の方との関わり方について」等、認知症の勉強会もされた。地域の方から情報を教えてもらって、今年からお正月に「獅子舞」が事業所に来てもらえるようになり、利用者にたいへん喜ばれている。	管理者は、会議参加について「町内会長さん達にも再度声をかけ、参加を呼びかけたい」と話しておられた。又、ご家族の参加等も増やし、いろいろな立場のご意見をいただけるよう、取り組みをすすめていかれてほしい。
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価)	
			三か月に一回のペースで、連絡会があり随時参加し得た内容や情報をサービスの向上に活かしている。	
			(外部評価)	
			運営推進会議に出席していただき、事業所の取組みについて意見や感想をお聞きしたり、生活保護受給者の利用者の相談や、書類の作成についてアドバイスしてもらっている。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)	
			利用者さんの行動が、いつもと違うなぁと思ったら、様子を見ながら、色々な方向から原因を考え身体拘束をせず、実践に取り組む努力をしている。	
			(外部評価)	
			調査訪問時、玄関やテラスへは自由に出入りできるように開放されており、庭の花の水遣りに出られる利用者の様子も見られた。カンファレンス時には、言葉や態度等についても、拘束になるようなことがないか職員間で話し合っておられる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待防止関連法に関する書類を事務所に掲示し、スタッフは日々確認しながら仕事に取り組んでいる。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 成年後見が必要なケースでは、管理者が主に対応するので、他の職員は理解できていないので、研修や資料等で理解できるように対応していきたい。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約書にそって説明させて頂いている。生活でおこりうるリスク面、重度化や看取りの対応。家族様、本人様の希望や質問を聞きながら行っている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者さんと1対1の話をする場を設け、苦情等があった場合はカンファレンス会で話し合い、ケアに活かす様にしている。又、運営推進会議で利用者さんにも参加して頂き発言の場を設けている。 (外部評価) 職員は、ご家族の来訪時や夏祭り、クリスマス会等の行事の後にはご家族に声かけて、ご意見をうかがうようにされている。ご家族からは「昼間はなるべく起こしておいてほしい」というご意見もあり、介護計画に採り入れて取り組まれている。	事業所では、家族同士が食事をしながらゆっくりと話し合える機会を計画し、交流を深め、ご家族からより多くの意見や要望を出していただけるようにしていきたいと話されていた。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			ミーティングでは、意見等がないか聞く時間を作っているが、中々、皆の前で言いにくいスタッフもいるので、気にはしているが、中々、忙しさや、ゆとりがなくて、声をかけれてないことがある。	
			(外部評価)	
			ユニットのリーダーは「相手の立場に立って考えること」を大切に、職員の相談や意見等にアドバイスをされている。利用者が布団を干す場所等について、利用者同士のトラブルを避けるために「利用者に分かりやすい順番表」を作られた。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			努力や実績を把握・配慮した上で、昇格・昇給等を行っている。又、月行事を分担し計画・実施をしている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			事業所内で研修を行ったり、介護福祉士を中心に実技研修を計画中。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			他のホームの推進会議や行事に参加したりしている。又、災害時の受け入れ等についても協力し合える様に話合っている。	
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			不安でいっぱいだと思うので、信頼関係を作って、本人の思いを組みとれるように関わっていく工夫している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価)	事前にカンファレンスを行い、その際に出来るだけ希望を聞き把握し対応している。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)	カンファレンス時に、必要支援を把握しできる限り対応に努めている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価)	人生の大先輩という考えを職員が共有できていると思う。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価)	心身の状況、日々の出来事を報告し家族の要望・ホーム側からの要望などの意見交換をし、日々のケアに活かしている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価)	月一回、お墓参りを続けている方もいる。時々、昔、住んでいた近所の方と偶然会ってお話されたりする事もあった。楽しみにされている。	
			(外部評価)		
			事業所の近くに住む利用者のお友達が、居室の仏壇に供える「しきび」をいつも届けて下さっている。職員は、お友達に、ご本人に代わって感謝の気持ちをお伝えしたり、「また来てくださいね」という言葉も添えておられる。		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)	
			一人ひとりの性格を把握し、相互の関係を理解した上でケアを行っている。スタッフが間に入り、コミュニケーションを取りやすくするように心がけている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)	
			家族さまから電話を頂くこともあり、相談にできるだけ協力させて頂いている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)	
			各自に担当スタッフを配慮し、希望・要望が聞かれるような循環を確保している。又、担当外のスタッフが関わられるようにもしている。	
			(外部評価)	
			利用者個々に担当の職員が決まっており、ご本人とのコミュニケーションの時間を多くして聞き取るようにされている。言葉で表現することがむづかしいような方は、表情や態度に注意して思いの把握に努めておられる。「言葉でなくても寄り添っているだけで思いが伝わってくることもあるよ」と先輩から教えてもらった、と言われる若い職員の方もあった。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	
			入居時に、大まかに聞かせて頂いてはいるが、日々の生活での会話、家族様との話で、細かい所を把握していきケアに繋げていけるようにしている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)	
			一人ひとりの生活リズムの大体の把握。できる所、できない所を見つけ、できる所は大切に、出来ない所は、さりげなくフォローをできるように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>担当者がプランを計画・作成しリーダーとモニタリングをした後、カンファレンスで全員で話し合い相互の意見交換などを行っている。家族には、月の評価を報告し意見交換を行っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者個々の担当職員が、個々の思いやご家族の希望等を取り入れながら介護計画を作成されている。毎月モニタリングを行い、3ヶ月ごとに介護計画の見直しをされている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>記録のための記録になっている所がある。ケアプランに沿った記録が意識付き、ケアに生かせるようにしていきたい。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者さんの希望で、近くの美容室を利用したりしている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>必要に応じて、要請、協力をしてもらっている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族様、利用者様に説明して、了解を得ている。通 院・受診は、家族様、利用者様の希望を聞いて、対応 している。基本的には家族同行の受診となっているが 難しい時はスタッフが行っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご本人ご家族が希望するかかりつけ医で受診してい ただくようになっている。週1回定期的に協力医の訪問 があり、希望者や必要に応じて診てもらっている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>いつもと違う様子があれば、訪問時や電話にて報告を して指示を頂いたり、相談させてもらっている。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価)</p> <p>カンファレンスには出席させて頂き、利用者さんの様 子、今後の事を相談させて頂きながら、出来るだけ早 く退院出来る様に、対応等考えている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につ いて、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所でできることを十分に説 明しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>重度化に伴う確認書作成して、説明を行っている。体 調の変化がある都度家族様と話し合い、事業所での対 応、家族様の希望等をきいている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご本人ご家族は、以前から「事業所で終末期を迎え たい」という希望があり、最近、ご家族とともに職員 で手を握ったり、顔をお拭きしたりして職員は「心 をこめて」看取られた。ご家族もよく来訪され、又、 ご家族とも連絡しあい、密に体調等、様子をやり取 りされた。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 年二回、消防士の方がきて消防訓練、避難訓練、心マッサージや人工呼吸の訓練を行っている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 日頃から、地域の方々・ご近所との関わりの場を持つようにし災害時の協力を依頼し連携体制を取っている。 (外部評価) 職員は、日頃から火の元に注意されている。近日常に、消防署の指導を受けながら、避難訓練を実施する予定となっている。消火器の使い方等についても体験することになっている。	管理者は、2階で車椅子を利用している利用者の避難について不安を感じる点も持っておられる。避難訓練時、消防署のアドバイス等をいただきながら、全利用者、職員が安全に避難できるような方法を検討していきたい。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 人生の大先輩としての気持ちを忘れず、その方その方の性格等を把握し、その方にあった声掛けをしながら本人の意思を尊重したケアを行うようにしている。 (外部評価) 職員は、居室を訪問する時、ノック・声かけを心がけておられる。更衣のお手伝いをする時も、ドアを閉めて行うようにされている。調査訪問時、職員が歯磨きをされている利用者に寄り添い、やさしく見守りスムーズに行えるようサポートされていた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 外出、食事、入浴、起床、就寝など、本人が自己決定を行える場面を作るように日々意識をしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) だいたいの生活は、確立しているが、その中でいつもと違った刺激のある生活を、利用者さんの状況等をみながら、支援に努めている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) お化粧品をされたり、化粧道具を一緒に買いに行ったりしている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) メニュー作成時、全部ではないが、利用者さんへ聞いて作っている。声掛けしてお手伝いして下さったり、自ら来てして下さい方もおられる。食事作りなど、教えて頂きながら、一緒に行っている。 (外部評価) 調査訪問時、利用者が「味はどう？」等と職員や他の利用者に五目寿司の味見をお願いしながら、職員と昼食の準備をされていた。利用者の希望でご飯・煮物等も柔らかくされている。一人ひとりの状態に合わせて刻み・ミキサー食等も支援されている。「自分で食べたい」というご本人の気持ちを大切に、介護用のスプーンでゆっくり食事をされている方を、職員はそばで見守りながら支援されていた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量は、全員確認し記録している。水分は不足しがちな方は、測定しながら一日の摂取量の把握に努めている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後の歯磨き・うがいをその方のやり方で声掛け、誘導、介助する様にしている。就寝前には義歯を預かり消毒する様にしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			積極的には行えてはいるが、排泄のチェック表を記入しながらリズムを知り、誘導したり、声かけを行っている。	
			(外部評価)	
			ほとんどの方が紙パンツを使われているが、出来る限りトイレで排泄できるよう、職員は声かけや誘導をしておられる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	
			繊維の多い食材をメニューに取り入れったり果物でジュースを作ったり、工夫して出来るだけ自然排便を目指している。	
			(外部評価)	
			職員の都合で決めたりしないように利用者さんの状況や希望に応じて決めさせて頂いている。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			職員の都合で決めたりしないように利用者さんの状況や希望に応じて決めさせて頂いている。	
			(外部評価)	
			お風呂がお好きな方は毎日入る方もある。入浴を嫌がられる方には入浴剤を使い「今日はいい香りですよ」と声をかけたり、タイミングをみて誘ったり、「入浴予約表」を事前にお渡ししておいて、気持ちの準備をしてもらう等、工夫をされている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			眠れない方がいたら、お話をしたり、聞いたりして気持ちが落ち着いて頂けるように支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方箋のコピーは、ファイルにとじ、いつでも確認できる様にはしている。薬の変更あれば記録し申し送りをして把握に努めている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 床掃除、食事作り、洗濯物干し、生活の中で役割をもった方もいる。して下さった後は、感謝の気持ちを伝えている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 希望は聞けても、中々、実施できていない現状だが、日程を決めて一つづつ希望をかなえていける様に努めていきたい。	
			(外部評価) お花や野菜の水遣りや、近くの商店にお菓子等を買に行かれる方もある。又、天候等によって近くの公園までの散歩されたり、事業所で飼っている犬の散歩に職員と行かれることもある。時には、外食やドライブに出かけている。	現在、2階の利用者で昇降機を使って上がり降りをされている方は、職員の人手等のこともあり、外に出る機会が限られているようである。ユニット間やご家族、地域の協力等、いろいろな方のアイデアや協力をいただきながら、利用者が外出したり外に出て過ごせるような機会を作っていかれてほしい。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) ほぼ、やわらぎで管理させて頂いているが、家族からの協力もあり、本人の希望がある方はご自分で少しはお金を持っているかたもいる。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 家族から了解頂いている所は、電話したりしている。ボタンが見えにくい方はスタッフが押している。聞こえにくい方は、説明してスピーカーホンにして対応している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節の花、旬の料理作りと、目でみて触れて食して、感じて頂いたりして季節感を出す工夫をしている。 (外部評価) 玄関前・靴箱の前・テラス・庭等、各箇所にベンチが置かれており、利用者がちょっと一休みできるようになっている。玄関には金木犀と利用者が活けた菊の花が飾られていた。トイレのトラブルを避けるために使用時には「はいってます」という手作りのカードをかけるようになっていた。事業所の外で飼っている犬（さくら）に餌をやる方もある。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ホール内のソファの配置の工夫。玄関にベンチを置いており、利用者さんの休憩場所になっている。	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) タンスや置物、仏壇等、以前から使われていた物を持ってきている方もいる。 (外部評価) 居室入り口の暖簾に、ご自分の名前を大きく刺繍されている方もある。壁には、ご家族の写真や職員から贈られた誕生カードを飾っておられたり、仏壇や馴染みの筆筒を持ち込まれている方、化粧道具を揃えておられる方もある。ご自分の作品（習字）を壁いっぱい貼っておられる方もあった。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) シーツ交換の曜日を決めており、ホールへ記入したボードを置いている。利用者さんは、それを見て、今日は誰と確認しており、一緒に干したりシーツ交換している。	